

9月15日：VN指数はまちまちの展開（VN-Index +0.29%）

- 海外市場の堅調さを受けてVN指数は上昇して始まり、プラス圏で推移し引けた。
- しかし、利益確定圧力が台頭し、徐々に指数が下落し、マイナスに転じる場面もあった。投資家は依然として慎重姿勢を崩していないことを示している。
- 後場にはキャッシュフローも低迷し、買い方・売り方ともに方向感のない展開で引けた。市場を下支えする材料もなく、まちまちの展開となった。
- 上昇が253銘柄、下落が247銘柄、変わらずは67銘柄だった。
- 流動性も減少し、売買代金は21.6兆ドンと前日から19.8%低下した。

VN30指数は堅調（VN30 +0.38%）

- 大型株で構成するVN30指数は17銘柄が上昇、11銘柄が下落、2銘柄が変わらずだった。
- ペトロベトナム・ガス（GAS、+3.4%）、ビンホームズ（VHM、+3.1%）、HDバンク（HDB、+2.9%）、ベトナムラバー・グループ（GVR、+2.7%）、SEAバンク（SSB、+2.7%）などの上昇が目立った。
- 反対に、ビンググループ（VIC、-3.4%）、ベッティンバンク（CTG、-1.4%）、モバイルワールド（MWG、-2.4%）、ベカメックス（BCM、-1.8%）、サイゴンビール（SAB、-2.5%）などは下落し、相場の重しとなった。

セクター・個別株の動き

- WTI原油価格が10か月ぶりの高値となる1バレル90ドルを超えたことで、PVB(+4.0%)、PVC(+3.1%)、PVS(+4.0%)などを含む原油・ガスセクターは1.77%の上昇となった。
- FPTは7,000万個のチップ生産を受注したことを発表し、1.7%上昇した。また今年8月時点の決算で売上高が32兆8,270億ドン（前年比+21.3%）、純利益が4兆9,940億ドン（同+18.3%）になることを明らかにした。

- 外国人投資家の売買も拮抗し、ホーチミン市場での買越額は 1,250 億ドンだった。ビンホームズ (VHM、+3.1%)、VIX(+1.6%)、PDR(+3.0%)などが買われた。反対にホアファット (HPG、-0.7%)、サイゴンハノイバンク (SHB、-0.8%) などは売られた。
-

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。